

ブランディングプランナー

わかば総研、年500人育成

販売・営業戦略支援を充実

わかば総研（大阪市中央区、藤本賢治社長、06・4964・8881）は、商品・サービスの優れた点を消費者にアピールするための支援を行う「ブランディングプランナー」育成に取り組む。講義や資格試験を行い、知名度が低い商品の販売を行える即戦力の人材を育成する。28日に大阪市中央区の大坂産業創造館で説明会を開き、年間で500人のプランナー育成を目指す。

併設した「トレンドリーダー協会」を活用し、ユーザー評価などの調査もしやすい。

わかば総研には月10〜20件の商品販売支援依頼が寄せられているが、同社の8人体制ではすべての依頼に対応できなかった。商品開発力があっても営業戦略が不得手な企

業は多いため、ニーズがあるが見ている。支援対象は化粧品や雑貨、日用品など一般消費者向け商品が中心のため、主な購買層である女性を講座に呼び込み、消

費者の視点を盛り込めるプランナー育成を目指している。一定数のプランナー誕生後には、それぞれの特徴を生かせる企業とプランナーのマッチングにも注力していく。

テルなどで使われている重油式ボイラからの置き換えを狙う。価格は容量4つの浴槽に使う製品で、約500万円。初年度10台の販売を目指す。シンプル東京（東京都西東京市）、サンキ（宮崎県日向市）と共同で開発した。現在は長崎県の老人ホームなどにテスト出荷している段階で、今後は関西地区の病院や温泉施設、老人ホームなどに販売する。

浴場電気料金3割安

グリーン環境 ヒーターで直接加熱
メントナンス

【南大阪】グリーン環境 ヒーターで直接加熱メントナンス（大阪府岸和田市、林徒志孝社長、0724・44・2134）は、浴場向け発熱装置「ほっと・エコ

」を近く発売する。電気ヒーターで水を直接加熱する構造で、従来の電気式発熱装置に比べ効率が約3割抑えられるとされている。巨大浴場やホ

これに伴い、今後数千万円を投じて、延べ床面積約300平方メートル程度の「DLC専用工場」1棟増設する。（下平社長）予定。

新本社工場が本稼働

DLCC被膜事業など拡充

講座は、10日付で組織したブランディングプランナー協会が行う。約2カ月間で10回のメール講義や企画書作成実習などを行った後、認定試験を行う。受講料は4万9800円。市場調査やメディア戦略、ユーザーからの評価分析などを行い、担当商品独自の価値をアピールしていく。試験合格後は、わかば総研から依頼の紹介を受けられる。

【厚木】不二ダブリュピーシー（神奈川県相模原市、下平英一社長、042・707・0776）は、相模原市に新本社工場（写真）を完

新工場は、同市の旧ぶどう園跡地を造成した工業団地「Sia神奈川」内に設置。旧ワイン工場を改修した。敷地面積は約1500平方メートル。鉄骨造の一部2階建てで、延べ床面積は約450平方

メートル。アルミニウムに特殊な粒子を打ち付けて金属表面を改良する「WPC処理」に対応したショットピーニング装置などを増設した。

2011年3月をめぐって、現在は神奈川県産奈川厚木市の旧本社工場は賃借で、所有者に返却する。

半導体向けゴム加工部品

扶桑ゴム産業（広島市南区、田村雅春社長、082・251・8555）の半導体向けゴム加工部品（写真）が売り上げを伸ばしている。6

扶桑ゴム産業

月以降、前年同月比で受注量が20%以上増えている。独自の切削加工で低コスト供給を実現したのが要因だ。「インターネットによる直接受注体

は旋盤による切削が特徴。金型が不要で通常の金型成形に比べ、加工コストは半分以下という。精度も100分の1

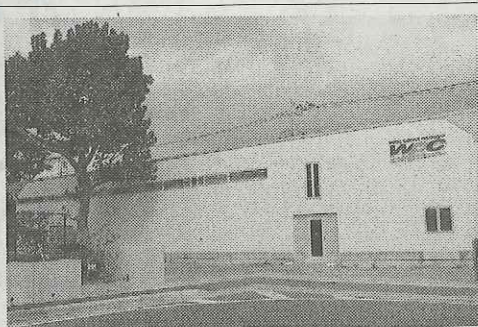
ミリ単位まで調整でき多品種少量生産に適している。さらに、これまでの商社経由の管

ファイル

「逆走」認識させる看板



「逆走」認識させる看板
サツマ（大阪市中央）の文字を発光ダイオードで



サツマ（大阪市中央）の文字を発光ダイオードで